

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	工業団地整備推進事業							予算事業名	工業団地整備推進事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			07	01	07	20	経常経費					
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 活力と創造力を育む商工業の振興 企業支援の推進							事業の区分	主要事業 重点事業			
								担当課係等	商工観光課 企業立地推進室			
事業期間	継続 (平成27年度～令和10年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
多くの優良企業を誘致し、産業振興、雇用創出と定住促進に寄与し、市全体が発展する。							圏央道の開通や企業の積極的な設備投資を背景に、工業団地造成を行い、企業誘致を進めている。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・繁昌塚南地区の工業団地整備 ・繁昌塚南地区土地区画整理事業に関する各種支援 ・新たな工業団地の開発 							繁昌塚南地区 新工業団地新規地区					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							圏央道茨城県開通や新4号国道の6車線化により、新工業団地として開発する繁昌塚南地区についてもすでに進出企業の目途がついている事から、市内工業団地については企業誘致を行う用地がない状況である。					
【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> ・繁昌塚南地区土地区画整理組合の運営 (工事完了、画地引渡し) 			<ul style="list-style-type: none"> ・繁昌塚南地区土地区画整理組合の運営 (清算手続き) ・新たな工業団地の開発 (地区の検討・施工手法の検討) 				<ul style="list-style-type: none"> ・新たな工業団地の開発 					

■ 事業費											
財源内訳			R06年度	R07年度							
	国	庫	支	出	金	0	0				
	県		支	出	金	0	0				
	地	方			債	0	0				
	そ	の			他	0	0				
一	般	財	源		10	6,765					
歳入計 (千円)				10	6,765						
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)						
	10	需用費	10		15						
	12	委託料	0		6,750						
	歳出計 (千円) (A)				10	6,765					
伸び率 (%)					67,550.00						
備考											

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	県等との関係法令協議	回	目標	10.00	5.00	5.00
	繁昌塚南地区（新工業団地）に関する県等との関係法令協議回数		実績	5.00	0.00	0.00
	繁昌塚南地区工事関係協議		目標	24.00	12.00	12.00
	工事に関する施工者、設計者等その他関係機関との協議		実績	10.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致企業数	社	目標	1.00	1.00	1.00
	新たに立地した企業数		実績	3.00	0.00	0.00
	雇用創出数	人	目標	10.00	10.00	10.00
	新たに立地した企業の雇用創出人数		実績	42.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	雇用創出による定住人口への寄与、税収増など事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	事業資金、事業期間を鑑みると組合施工への支援を行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	当市では一般的な手法である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限の人員で行われている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	雇用創出による定住人口への寄与、税収増、地域経済への波及効果など市全体へ及ぶ為偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	工事施工中であるが、進捗に関しては計画どおりに進められている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
工業団地の整備状況は順調に推移している。若宮西地区は進出企業8社が操業を開始しており、繁昌塚南地区も進出企業を内定している。整備については物価高騰による工事価格の上昇が懸案となっている。も順調な進捗を見せている。しかし次の開発地区については、検討を進めるにはほぼ農地が含まれる事や、排水先の同意取得が困難な状況が見受けられることなど、難しい状況である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
工事価格の上昇に対する資金計画の再検討を進め、土地開発公社の運営調整、土地区画整理組合への支援、県、市関係各課と連携を図り、予定どおりの引渡しに向け進めていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 繁昌塚南地区の工業団地造成は順調に進んでおり、工事業者をはじめ、地元組合、進出予定企業と協議を密に行い、事業を円滑かつ確実に進めることが重要である。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	
管理課連絡欄	